



「震災復興を語る」

～被災地における地域復興、地域再生の事例～

PMAJ例会講演 2017.2.24 柴崎健一



～被災地における地域復興、地域再生の事例～

1. 自己紹介
2. ITで日本を元気に！
3. (事例1) 被災現場からの発信
4. (事例2) 復興に向かって
5. (事例3) 観光協会の強みを生かして商品開発
6. (事例4) 自伐型林業による地域づくり

商品紹介

うえるなび

1分
ラクラク
計画!!

デイサービス向け送迎支援
うえるなび

「うえるなび」は、送迎先の住所・利用者様の要望などから送迎計画を自動で立案するシステムです。

1自動立案 **2時間短縮**

製品紹介 <https://wel.michisuji.com/>

お問い合わせ先 ▶ 株式会社 トレック
E-mail: ware@wel.michisuji.com
TEL: 020-1111-7777

株式会社 トレック
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

商品紹介

うえるなび

「送迎先が複数ある場合、送迎したいAを優先させたいBを優先させたいCを優先させたいDを優先させたいEを優先させたいFを優先させたいGを優先させたいHを優先させたいIを優先させたいJを優先させたいKを優先させたいLを優先させたいMを優先させたいNを優先させたいOを優先させたいPを優先させたいQを優先させたいRを優先させたいSを優先させたいTを優先させたいUを優先させたいVを優先させたいWを優先させたいXを優先させたいYを優先させたいZを優先させたい」

デイサービス向け送迎支援
うえるなび

すぐに確認できて操作はカンタン、運行コストの削減にも!

このような新しい要望や、急な予定変更にもすぐに対応可能です!
「効率」と「満足」を、バランスよく両立した送迎計画の立案ができます。

こちらで確認! <https://wel.michisuji.com/>

時短作業で効率UP! 介護の質や経費面でも効果大!
心のゆとりが利用者様にも、きっと伝わります。

送迎先別の乗員数	30名以下	31~40名	51~60名	81~100名	101名以上
1台あたり料金	¥50,000	¥70,000	¥70,000	¥100,000	¥100,000
送迎料	¥20,000	¥30,000	¥50,000	¥80,000	¥80,000

ご利用者様26人を、送迎車両4台で立案した場合の例です。

株式会社 トレック
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
E-mail: ware@wel.michisuji.com
TEL: 020-1111-7777

2. ITで日本を元気に！ (IT4J) 設立趣旨

<http://revival-tohoku.jp/establishment.html>

「ITで日本を元気に！」 設立にあたり

この度の東日本大震災において亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々及びそのご家族の方々、関係者の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。
さて、三陸沖を震源として3月11日に発生した大地震は想像を超す大震災となり、東日本の太平洋沿岸部を中心に深刻な被害をもたらしました。

この震災で甚大な被害を受けた地域の復興は、今後、膨大な時間とお金を要することとなりますが、その中で、我々IT業界が果たす役割は大きいのではないかと考えています。一方、各種クラウドの無償提供プログラムに代表される既存の復興支援額は、被害が甚大な津波の被災地が利用できる範囲は必ずしも多くなく、また、既存の復興支援チームでは、被災者の数に比較してニーズを汲み取る形のため軽やかさが足りないケース、物資供給にタイムラグがあり必ずしもタイムリーに支援できていないケースも多いのが実情です。

当プログラムの支援活動は、全国のIT企業と地元経済復興のリード役である仙台の企業群とが連携することにより、被災地に求められる今のニーズを機動的に把握し、タイムリーに協力を支援ができることを目指します。
また、IT関連の経営に携わる方々と被災地の方々、現地自治体関係者とが直接接する機会を創出し、今後重要になってくるであろう復興へのITの関わり方について、的確かつ継続的な施策を立案し復興の支援を行うことを目指します。合わせて、その支援活動を通じてIT業界が特徴のある復興支援策を実行していることをアピールし、IT業界から全国に「元気になるぞ！」と堂々メッセージを届けたいと考えております。

そこで、この度「ITで日本を元気に！」実行委員会を設立いたしました。
当活動を通じて拠出いただいた寄付金は、震災で被災した方々や子供たち、復興に向けて活動している方々への支援の為に活用したいと考えております。

短期的には避難所（指定避難所外含む）に避難している方々や仮設住宅に入居している方々、復興に向けて活動している方々（団体）への物資提供や支援活動の為に、中長期的には仙台の企業群として復興に関わるための活動費用、被災した子供たちへのスポーツ・文化等を通じた支援活動の為に活用したいと考えております。

この震災の復興は永きに渡ります。復興に向けて現地で活動している方々の力と私たちIT業界が持つ力を融合し、復興した東北を未来の日本のモデルケースにできるよう、皆さんと一緒に活動して行きたいと思っております。
つきましては、この趣旨をご理解頂き皆様方のご協力をお願い致します。

3. (事例1) 被災現場からの発信

一般社団法人 東松島みらい都市機構 (HOPE)

法人名	一般社団法人 東松島みらいとし機構 (通称HOPE)
理事長	大滝 精一 (東北大学大学院経済学研究科 教授)
理事	阿部 秀保 (東松島市長) 橋本 孝一 (東松島市商工会長)
所在地	〒981-0503 東松島市矢本字上河戸36番地1 (東松島市役所内) TEL: 0225-98-7311 FAX: 0225-98-7085
設立	2012年10月1日
事業内容	(1) 安全で魅力あるまちづくりに関する事業 (2) 地域産業の持続及び再生に関する事業 (3) 地域コミュニティの再興に関する事業 (4) 分散型地域エネルギー自立都市に関する事業 (5) ソーシャル・ビジネス等に係る人材育成に関する事業 (6) その他上記目的を達成するために必要な事業

<http://hm-hope.org/organization/>

3. (事例1) 被災現場からの発信 希望の大麦プロジェクト



被災した土地で大麦を栽培し、収穫物から地ビールや菓子などを製造・販売することで、地元になたな産業や雇用を生み出そうという取り組み。

東松島市を始めとする行政機関や東北大学などの研究機関、市内の農家や市民の方たちの協力を得て、「産・官・学・民」の連携のもと、被災地に“なりわい”と“にぎわい”を取り戻すことを目的としています。

<http://www.asahigroup-holdings.com/express/detail/160113-mugi.html>

4. (事例2) 復興に向かって 東北大学 大学院農学研究科 東北復興農学センター



現状分析

- 2016年6月に福島県葛尾村の避難指示解除となったが、帰村人口割合は震災以前の1割未満。
- 全国的な葛尾村の知名度も低い。

目的

- 葛尾村の知名度向上
- 帰村・入村含め葛尾村人口増加への足掛かりへ



復興農学 葛尾村プロジェクトとして活動

4. (事例2) 復興に向かって 福島県双葉郡葛尾村

2017年2月1日現在

県内避難者	仮設住宅	315人
	借上住宅	223人
	親類宅等	688人
	計	1,226人
県外避難者		106人
帰村者		118人
避難指示解除以降の転入者		25人
計		1,475人

<http://www.katsurao.org/soshiki/1/21.html>

4. (事例2) 復興に向かって 課題 1

- ・買い物 再開できていない
- ・医療 高齢の医師が昨年引退
歯科は週3回訪問
- ・介護施設 仮設生活で弱ってしまった

4. (事例2) 復興に向かって

課題2

- ・年配者 災害復興住宅 落札できない
建て替え
- ・若い人 子供の問題、職がない
- ・帰還はバラバラ 1時間ぐらいで通える
世帯分離が進む

4. (事例2) 復興に向かって

課題3

- ・移住者向け空き家の利用空き家の解体
環境省の取り組み
- ・金泉ニット 2017年10月操業予定 (補助金活用)



5. (事例3) 観光協会の強みを生かして商品開発 一般社団法人 南三陸町観光協会

<http://www.m-kankou.jp/about/>

名称	一般社団法人南三陸町観光協会
主たる事務所	宮城県本吉郡南三陸町志津川字御前下51-1
法人の公告方法	主たる事務所の公衆の見やすい場所に提示する方法により行う。
法人成立の年月日	平成21年6月23日
目的等	<p>目的 この法人は、南三陸町及びその周辺地域の有する文化的、社会的、経済的特性を活かし、観光客の誘致促進を図ると共に、観光地及び観光物産の紹介宣伝、観光施設の整備促進、観光関係者の資質の向上を図り、もって地域の生活文化の向上及び産業経済の発展に寄与することを目的とし、その目的を達成するために、次の事業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.観光資源の調査及び研究並びに観光開発の促進 2.観光物産の情報収集及び紹介宣伝並びに販路拡大 3.観光客の誘致促進並びに観光事業の企画及び実施 4.観光思想の普及並びに観光関係者の資質向上 5.観光関係者及び団体との連絡協調 6.旅行業法に基づく旅行業 7.損害保険代理店業 8.観光土産品等の開発及び販売促進 9.その他この法人の目的を達成するために必要な事業
会長	及川 吉則
理事会設置法人に関する事項	理事会設置法人
監事設置法人に関する事項	監事設置法人
登記記録に関する事項	設立 平成21年6月23日

5. (事例3) 観光協会の強みを生かして商品開発 旅行商品ネット販売システム“みなたび”の構築



「南三陸町」自体を販売する地域の総合販売センターの役割を担う。
楽天やじゃらんの地域版として協会のハコの中で宿泊施設予約や地域の体験プログラムやツアー商品を販売。旬の海産物やお歳暮セットなど物産品も扱う。(交流事業)

町内事業者が提供するサービスの認知度および売上向上に寄与することで手数料を徴収し収益源とする。
このサービスの情報配信・検索・予約を行うシステムを構築することで、少人数でも運用できるようにする。(自主財源・省力化)

5. (事例3) 観光協会の強みを生かして商品開発

みなたび <https://minatabi.good-travel.info/>

「みなたび」とは？

「みなたび」は、2016年2月にオープンしました。南三陸町観光協会が運営しています。南三陸の宿泊施設や各種ツアー・プログラムの予約サイトです。地域観光の中心を担う観光協会が運営しているため、大手宿泊予約サイトにはない、みなたびだけのプラン・お部屋もご紹介します。

「みなたび」で、できること

「みなたび」では、ご利用の期間、人数、部屋数や食事の内容（例えば二食付き、食事なしなど）や部屋タイプ（和室・洋室など）を条件にプラン・空室を検索して、予約することができます。お支払いにクレジットカードをご利用頂くことも可能です。詳しくはこちら

ご希望のプランがない場合は？

こちらからお問い合わせ下さい。ご希望にそってご提案させていただきます。なお、南三陸町の魅力・見どころ・イベントなどの情報は協会ホームページをご参照下さい。南三陸でお会いできることを楽しみにしています!!

「みなたび」の価値

大手宿泊予約サイトでなく、みなたびで宿泊施設やツアー・体験プログラムをご予約いただくことにより地域活性に貢献して頂けます。ご利用いただければ幸いです。【その理由】地域内で手数料等の資金が循環することにより、魅力的なプランの開発や予約システム改良への再投資が可能になり、それらの取り組みに関わる様々な職種の雇用を創出できます。

6. (事例4) 自伐型林業による地域づくり

合同会社 波伝の森山学校

里山 里海 波伝の森
南三陸から始まる
人と人が出会う
コミュニティづくり

波伝の森山学校
5つのミッション
地域の資源を循環させ
地域の技術を伝承する

- 森林整備事業
- 再生可能エネルギー普及促進事業 (バイオエネルギーの普及)
- グリーン・ブルー・エコリズム推進事業
- 人材育成事業 (職人の育成)
- まちづくりの推進及び地域活性化事業

波伝の森山学校合同会社

代表社員 渡辺 哲
設立 平成26年10月15日
〒985-0781 宮城県本吉郡南三陸町戸倉字浪士53-4
TEL 090-1219-5676
FAX 0226-46-9388
Eメール yamagakko2014@gmail.com
Facebook <https://www.facebook.com/yamagakko>

合同会社 波伝の森山学校

・ソーシャル活動の分野

山学校（南三陸サポーターズクラブ）と「南三陸木の家づくり互助会」（地域の森林資源を活用した、家づくりと地域づくりを目指す）が連携し、地域復興、地域再生を進めている。

合同会社 波伝の森山学校

・ソーシャル活動の一環としてのイベント実施

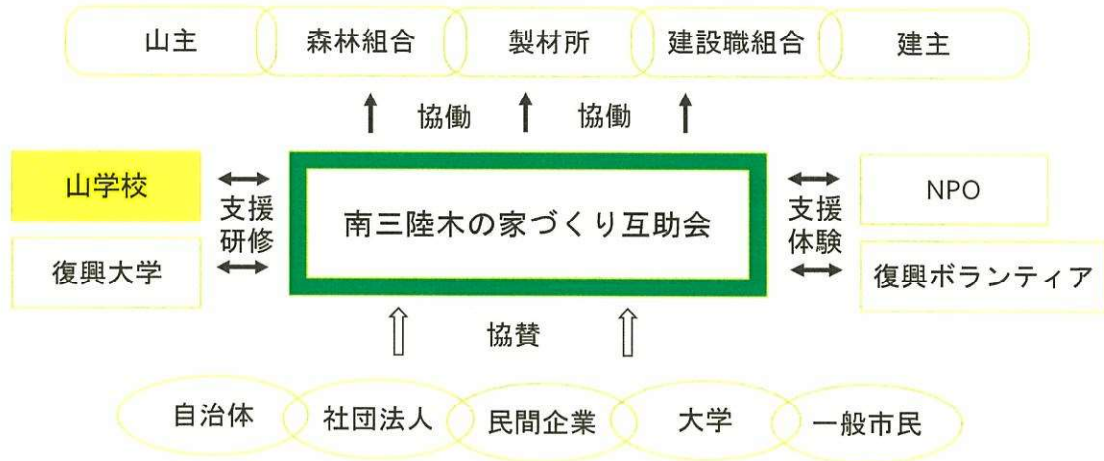
山学校による山・海の自然体験で、「森をきれいにすることが海をきれいにする」を未来を築く次の世代に伝える。

また、東日本大震災での復興ボランティアで経験した人間系スキル（リーダーシップ）の大切さを伝えている。

- －間伐作業、木出し作業の体験（小学校から大学生）。
- －戸倉湾の漁師の体験とオーナー制度（牡蠣）。

6. (事例4) 自伐型林業による地域づくり 南三陸木の家づくり互助会

<人の輪>



出所：南三陸木の家づくり互助会パンフレット

6. (事例4) 自伐型林業による地域づくり 南三陸木の家づくり互助会

南三陸木の家づくり互助会

地域の森林資源を活用した、会員間の互助による家づくりと暮らしの創造を図り、持続的な資源循環の地域づくりを目指します。

【役員名簿】

会 長	後藤 一磨	戸倉	南三陸町観光協会ガイドサークル汐風
副会長	山本富士男	志津川	山本セメント一級建築士事務所
副会長	小野寺久幸	入谷	農業・ワーカーズコープ
副会長	小野寺 寛	歌津	農業
運営委員	後藤 陸男	戸倉	漁業
運営委員	佐々木 正喜	戸倉	建設業
運営委員	阿部 寿男	戸倉	建設業(阿部寿建設(株))
運営委員	渡辺 啓	戸倉	ラムズ代表
運営委員	佐藤 昇二	戸倉	建設業(有)報昇建設
運営委員	阿部 俊幸	戸倉	(酪農)・削蹄師・農業
運営委員	渡辺 公	志津川	建設業(渡公工務店)
運営委員	大森 信夫	志津川	建設業(大森建築)
運営委員	松野 三枝子	入谷	共同食堂農漁家レストラン松野や
運営委員	松野 仁一	入谷	農業
運営委員	阿部 吉文	入谷	阿部材木店
運営委員	及川 清孝	歌津	宮城大学復興推進員
運営委員	秋山 豊治	登米市	会社員
運営委員	川名 俊博	登米市	ワーカーズコープ南三陸事業所所長
運営委員	蛇口 昌俊	栗原市	NPOフォレストサイクル元樹理事長
運営委員	安藤 邦廣	茨城県	筑波大学名誉教授(建築学) 地域再生コミュニティビジネス推進協会会長理事
運営委員	鈴江 茂敏	東京都	パルシステム生協連合会地域支援本部地域支援課長 地域再生コミュニティビジネス推進協会代表理事
運営委員	清水 信義	宮城県利府町	地域再生コミュニティビジネス推進協会南三陸町駐在員
監 事	鈴木 清美	志津川	宮城大学復興推進員
監 事	五辻 活	山梨県	農業・パルシステム21世紀研究所研究員

【会 員】木の家づくりに参加する個人 年会費 3,000円
 【賛助会員】木の家づくりに参加する個人又は団体 一口 3,000円

出所：南三陸木の家づくり互助会FBページ

6. (事例4) 自伐型林業による地域づくり

合同会社 波伝の森山学校

- 南三陸木の家づくり互助会の活動
 - 地域の森林資源を活用した家づくり実施
板倉の家(伝統的な工法を使った木造建築技術で、耐火性があり、夏涼しく冬暖かい)による復興住宅、店舗、コミュニティスペースを建設。
 - 持続的な資源循環(炭素の循環)の地域づくり
伐採→製材・乾燥・備蓄→施工→居住→炭素が森へ
 - 山と海の自然体験による未来の担い手育成
コミュニティ・ビジネス(山学校、地域再生コミュニティ・ビジネス推進協会による事業活動)手法を活用した。
 - 関連する諸団体との交流に関わる事業

6. (事例4) 自伐型林業による地域づくり

合同会社 波伝の森山学校

- ソーシャル活動に対する留意点
 - 理念・ビジョンと具体的目標の設定
 - ステークホルダー(活動に何らかの影響を及ぼす個人及び団体)との関係構築とその維持
 - 活動中の想定外の出来事への対処
 - 活動成果の評価

(1) 計画は重視しない。しかし繰り返して改善する。

(2) 成果の評価より、改善点をつなげる。

(3) 筑波大学、板倉の家との連携(得意分野でのジョイント)

6. (事例4) 自伐型林業による地域づくり

合同会社 波伝の森山学校

- 活動に際して、うまく進んだこと
 - － 南三陸サポーターズクラブ事業
 - － 板倉小屋の実験事業
 - － 地元の木を活用した復興住宅、店舗、コミュニティ・スペースを建設して事業として成り立つ。
 - － その要因は？
 - (1) ステークホルダーの話を聞いて、進める。
 - (2) 動ける人から動く(各自のチャレンジ+協力者)。
例えば、コミュニティ・スペース建築では慶応大学の学生が手伝い、「繋がり」を得た(産学連携)。
 - (3) タテとヨコの繋がりを作る。

6. (事例4) 自伐型林業による地域づくり

合同会社 波伝の森山学校

- 活動に際して「困ったこと」
 - － 資金援助が得られない。
 - (1) パルシステム連合会の基金の活用: 丸太の仕入れ代金を前払いで支援。
 - (2) 地域再生コミュニティビジネス推進協会(賛助会員は20団体、3個人)との連携。

• 長期的な目標は？

ー将来は、300haの森林を長期伐採。(現在22ha)

ー自伐型林業(山の木をチェーンソーと小型の林内作業で間伐しながら育てる)を増やす。

• 「計画の変更」が発生する場合の、主な原因は？

ーステークホルダー(利害関係者)とのスケジュールなどが合わなかった

ーその他(天候)

例1. 養殖の稚貝が届くのが遅れた。

例2. 伐採の違い、作業手順も天候により変わる。

6. (事例4) 自伐型林業による地域づくり
合同会社 波伝の森山学校

• 「計画の変更」が発生する場合の、主な原因は？

ーステークホルダー(利害関係者)とのスケジュールなどが合わなかった

ーその他(天候)

例1. 養殖の稚貝が届くのが遅れた。

例2. 伐採の違い、作業手順も天候により変わる。

***「計画は変わるもの」が前提！**



ご清聴ありがとうございました。

